

日本エステティック機構（JEO）が2007年5月に発表した「エステティシャン指針」

日本エステティック試験センターは、この指針に基づき試験を実施。また日本エステティシャン協会の認定校、日本エステティック業協会にエステティック認定校は、おおむねこの指針にそったカリキュラムで授業が行われている。

なお、指針では300時間レベルと1000時間レベルの内容が示されているが、日本エステティック試験センターが実施する試験は300時間レベルである（2010年現在）。

また、指針に示されたカリキュラムは、文部科学省が進める単位制をとっていないなどの基本的な課題を残している。

* 次ページから 日本エステティック機構発表の「エステティシャン指針」。

JEO エステティシャン指針(2007年5月発表)

- **教育理念**
エステティックを職業とし、エステティシャンとして成長し得るための、基本となるエステティックの知識と技術、ホスピタリティーマインド、法令遵守の精神を持つ人を育て、その人のエステティシャンとしての生涯にわたる成長の機会を提供し続ける。
- **エステティシャンの定義**
2つのレベル設定

- **300時間以上履修のエステティシャン**
(理論 110時間、実技理論20時間、実技170時間)

プロの技術者であるための基本的な知識と技術を有するエステティシャン
- **修得技術**
フェイシャル(基本的な手技・機器)
ボディ(手技)
ワックス脱毛
- **サービス業としての必須知識**
ホスピタリティーマインド
衛生・安全
法令遵守

- **1000時間以上履修のエステティシャン**
(理論 280時間、実技理論100時間、実技620時間)

プロの技術者としての知識・技術・実務経験を活かして、トータルにケアする能力を有するエステティシャン
- **修得技術**
フェイシャル(手技・機器)
ボディ(手技・機器)
ワックス脱毛
メイクアップ・マニキュア
- **サービス業としての必須知識**
ホスピタリティーマインド
衛生・安全
法令遵守

- **既資格保持者や実務経験者に関する経過措置の考え方**
養成基準と同等かそれ以上と認められた場合に適用

JEO(2007年5月発表) カリキュラム

	300時間以上 履修カリキュラム	1000時間以上 履修カリキュラム
理論	110	280
実技理論	20	100
実技	170	620
総時間数	300	1000

〔各科目の時間数の捉え方〕

1. 目安であり、多少の前後は可
2. 休憩を含まない実質時間
3. 総時間数は下回らない
(300時間以上／1000時間以上)

	科 目	300時間以上 履修カリキュラム	1000時間以上 履修カリキュラム
理 論	エステティック概論	4	8
	皮膚科学	24	55
	解剖生理学	20	50
	心身生理学／生命活動とホメオスタシス	10	24
	運動生理学	4	10
	栄養学	8	30
	化粧品学	8	24
	電気学・機器学	6	15
	関連法規	4	6
	衛生・消毒／衛生管理	4	14
	救急法	4	4
	エステティックカウンセリング	10	20
	サロンマネジメント／サロン経営学	4	20
	小 計	110	280
実 技 理 論	フェイシャル理論	10	30
	ボディ理論	6	20
	ワックス脱毛理論	4	6
	メイクアップ理論		6
	ネイルケア／マニキュア理論		4
	フットケア／ペディキュア理論		4
	アロマセラピー／フィットセラピー理論		
	エクササイズ理論		
	タラソセラピー／ハイドロセラピー理論		
	東洋医学		選択 30
	リンパドレナージュ		
	代替療法理論		
	東洋西洋のセラピー		
色彩学			
リフレクソロジー			
その他			
	小 計	20	100
	(理論+実技理論)合計	130	380
実 技	フェイシャル実技	90	250
	ボディ実技	70	210
	ワックス脱毛実技	10	16
	メイクアップ実技		32
	ネイルケア／マニキュア実技		18
	フットケア／ペディキュア実技		18
	アロマセラピー／フィットセラピー実技		
	エクササイズ実技		
	タラソセラピー／ハイドロセラピー実技		
	リンパドレナージュ		選択 76
	リフレクソロジー		
	東洋医学		
	代替療法理論		
サロン実習			
その他			
	小 計	170	620
	総時間数	300	1000